

ごあいさつ

代表：横須賀邦子

平素よりご協力いただきましてありがとうございます。十勝連峰美瑛富士避難小屋トイレ設置要望について、未だ解決されない管理の問題があり意見交換をしているところです。ここで一度本州のトイレ問題から学ぶ意味で、19年3月10日開催の第8回フォーラムでは本州山岳地帯でトイレ問題に取り組む山小屋オーナーと、費用負担の話が研究者から伺います。道内各所に設置されているトイレの管理と費用負担について考える機会となるでしょう。

皆様のおいでをお待ちいたします。

## 美瑛富士署名活動ご協力ありがとうございます！ 26,768筆の署名を環境大臣と北海道知事へ提出しました

### 活動報告

#### 1. 第7回フォーラムの開催(2006.3.4)

第7回山のトイレを考えるフォーラムが札幌市環境プラザで開催され、52名の参加者を迎えて行われました。

今回のテーマは「美瑛富士避難小屋に似合うトイレと管理のあり方」です。ゲストスピーカーは次の4人でした。

- ・加藤 篤氏 (日本トイレ協会)
- ・村上隆広氏 (斜里町環境保全課)
- ・吉田敏則氏 (斜里岳 清岳荘管理人)
- ・河田 充氏 (NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンタ)

最初に日本トイレ協会の加藤篤氏から「山岳トイレ技術の概略と導入事例」と題して、日進月歩のバイオトイレの最新技術動向についてお話をいただきました。

そのほかゲストスピーカーからは、知床の世界自然遺産登録とトイレ問題、斜里岳トイレ問題の現状、東大雪の山トイレ事情、そしてそれぞれの取り組みについて発表していただきました。

討論では、美瑛富士避難小屋にトイレを設置するとすると、どのような方式がよいか、維持管理方法は、また、黒岳バイオトイレ改善に向けた今後の取り組みなど、約4時間の熱い討論が行われました。署名活動がキチント生かされることを願っています。詳細は当会のホームページを参照願います。

#### 2. 美瑛富士の署名、環境大臣と北海道知事へ提出(2006.6.27)

6月27日「美瑛富士避難小屋にトイレ設置を求める連絡会」では、札幌市の環境省北海道地方事務所の青山所長に要請書とともに署名を提出しました。所長は「このような趣旨で署名が集められるのは全国的にも例のないことなので重くうけとめる。今後は地元の意向を聞いたり、現地の状況を勘案などしながら対策を検討していきたい」との答えを頂きました。その後、北海道庁で、佐竹自然環境課長に署名(コピー版)を渡しました。「国立公園の施設整備は環境省の所管であるが、地元自治体としてお願いや働きかけなどを考える。また、山のトイレを考える会と相談しながらいろいろな取り組みをすすめたい」という趣旨の回答をいただきました。

また、10月16日に環境省北海道事務所の職員3名と当会の横須賀代表ほか3名とで本件について意見交換を実施しました。



26,768筆の署名



第7回フォーラム模様



環境省北海道事務所に署名提出(6名出席)

### 3. 山のトイレマナー袋を製作 (2006.5.25)

当会の重要な活動の一つに「トイレ紙の持帰り運動」があります。当会発足当初から啓発用ツールの製作について検討していましたが、資金不足で実現できませんでした。

このたび登山・トレッキングウェアの専門メーカーである(株)ムッシュ様のご支援で製作することができました。

山岳団体や山岳ツアー会社様等で会員や登山者に配布して啓発活動にご協力をお願いします。必要数を当会事務局までご連絡くだされば、送付いたします。

トイレ紙は回収して、いつも綺麗な山にしたいですね。



黒岳山頂でのトイレデー (2006.9.4)



山のトイレマナー袋 (右の外袋に左の内袋2枚入り)

### 4. 2006山のトイレデー実施 (2006.9.4)

2006全道一斉山のトイレデーは、北海道の19箇所の登山口でマナー袋と山のトイレマナーガイドの配布、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を行いました。

参加者は約100名を超え、マナー袋、マナーガイドは約800部を配布することができました。当会の活動目的の一つである「トイレ紙は持ち帰りましょう」を今回のトイレデーの主活動とし、登山者に呼びかけました。

当会発足してから7年が経過しましたが、「トイレ紙は持ち帰っているよ」「携帯トイレも持っていますよ」との登山者が多くなっていることを実感したトイレデーでした。活動に参加して頂いたみなさま、ありがとうございました。

(ニュースレター編集)  
仲俣善雄

### 5. 大雪トイレ注意掲示板の製作

大雪山の避難小屋トイレに大量のゴミが捨ててあり、H12年とH13年の糞尿のヘリ搬出で汲み取りに大変な支障をきたしました。一部のモラルの無い登山者が、いろいろなゴミを捨てた結果ですが、これを防止しようと下記のような注意掲示板を製作することにしました。

本件は道庁自然環境課とも話し合い、当会の費用で製作、取り付けは今年の夏を予定しています。

白雲、ヒサゴ、忠別、上ホ口避難小屋トイレの4箇所を予定しています。

#### 登山者の皆様へのお願い

- ・便槽内に、ゴミを一切投げ入れなで下さい
- ・使用済みのトイレ紙は、お持ち帰り下さい

#### お願いする理由

- ・トイレ便槽内容物は、数年に一度、ポンプ等で吸い上げ、ヘリで搬送し下界のし尿処理場で処理しています。ゴミの投入により作業が非常に困難でした。
- ・また、使用済みの紙の持ち帰りは、内容物の減少となり、トイレ使用期間を延ばすことの手助けとなります。

北海道環境局自然環境課  
山のトイレを考える会

### 第8回フォーラム開催案内 2007年3月10日(土)

場所: かでる2・7「730研修室」  
札幌市中央区北2条西7丁目  
TEL: 011-204-5100

(講演予定者)

筑波大学助教授 伊藤太一氏

「富士山および南アルプス南部に  
おける施設整備とその費用負担」

槍ヶ岳観光(株)代表 穂苅康治氏  
「山のトイレとエコトイレ」

時間: 午後1時30分(開演)  
~午後5時(受付 午後1時)

テーマ: 「山小屋トイレの維持管理について考える」

連絡先

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院農学研究院内

山のトイレを考える会事務局 (担当: 愛甲哲也)

電話&FAX: 011-706-2452 電子メール: hokkaido@yamatoilet.jp

<http://www.yamatoilet.jp>